

## 本校の学校教育目標

「寄り添い 育み 切り拓き 明日を生きる」

## 本校の目指す生徒像

自他を認め、すすんで学び、「生きる力」を身につけ、予測困難なこれからの時代の中にあっても自己実現のできる生徒

## 本校の目指す学校像

キーワード	目指す学校像	具体化のため令和6年度の重点(①生徒②教職員③家庭・地域)
寄り添う	生徒はお互いを、教職員は全生徒を、家庭ではわが子を、地域は身近な生徒を温かく見守るネットワークを持った学校	<p>① <u>相手の立場を理解し、お互いの人権を尊重しながらコミュニケーションがとれる生徒の育成。</u></p> <p>② <u>いじめ防止と解消に向けて組織をあげて全力で取り組むとともに、特別支援教育の視点からの困難な状況にある生徒の早期発見とその解消のための関係機関との連携体制の構築。</u></p> <p>③ <u>保護者・地域等の外部人材と連携した教育活動の実践と、各種通信・ホームページ・「すぐる」等での情報発信による学校・家庭・地域で連携して生徒を見守ろうとする風土の醸成。</u></p>
育む	一人一人の生徒を知り、「真の学力」の獲得と自己実現のために粘り強く指導する学校	<p>① <u>ICTを活用し、「主体的・対話的で深い学び」により資質・能力を高め、自分の強みはさらに伸ばし、弱みを克服しようとする生徒の育成。</u></p> <p>② <u>【人間】生徒の話を受容的に聞き、まずは心を受け止め、生徒に自ら考えさせ、行動させる指導と支援の徹底。</u> <u>【学習】小規模校だからこそその家庭的な優しさと、小中一貫教育カリキュラムをベースにした一人一人の課題に合わせた多様性のある学習指導の実現。</u></p> <p>③ <u>学年・学校・家庭・地域の組織的な連携・協力による指導と支援体制の充実。</u></p>
切り拓く	集団生活の中での豊かな人間性や社会性の育成に重点を置き、予測困難な社会の中でも、関わりやつながりを大切にする学校	<p>① <u>キャリア教育の視点から、将来自らが社会に出た際に必要となる「生きる力」がどのようなものであるかについて思いを馳せることができ、その力の獲得のために努力する生徒の育成。</u></p> <p>② <u>困難な状況下でも学びの機会を確保するためのICTの有効活用と、自身のワークライフバランスの確立と持続可能な学校を創造するための「働き方改革」の実践。</u></p> <p>③ <u>生徒が地域の多くの人々と関わる中で自身の社会性を育み、社会に貢献できる資質や能力を向上させることができるようなプログラムの計画と実行。</u></p>

